

地域の元気応援プロジェクト



広島大学



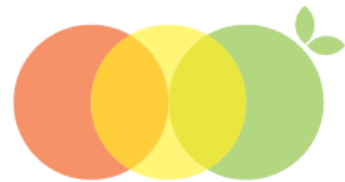
mamena

瀬戸内の歴史・生活・文化の変遷を踏まえて

これからの世界における瀬戸内

世界における瀬戸内を考えるためのデータベースの構築

「くらしを、自分たちの手に取り戻す。」



mamena

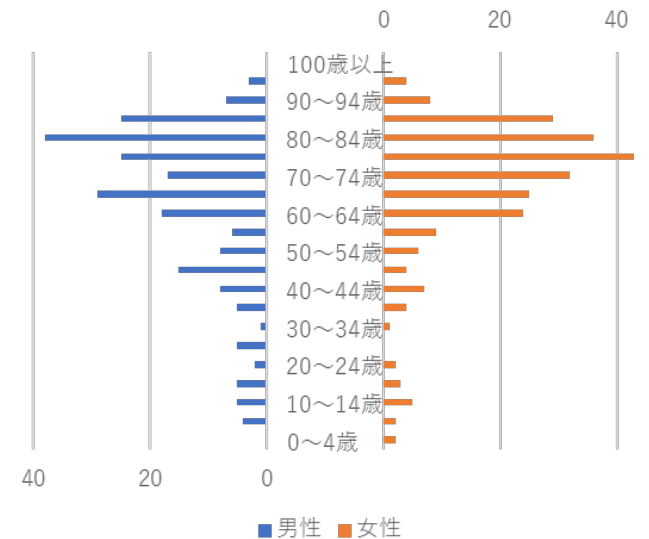
報告者：人間社会科学研究科 長坂 格

久比地区の概要とまめな

- 明治末期からの柑橘生産の県内中心市（隣の大長と並び）
- 1970年代のみかん価格の暴落→以後、樹園面積・生産量の低下
- 現在の人口は472人（2015年国勢調査）。人口減、高齢化がすすむ。
- 久比地区に拠点を置く「まめな」
 - 久比に「相互扶助拠点」とこれからのライフスタイル探究拠点をすることを目的
 - これまで広島大学とまめなは、研究、教育面で様々な形で協働
→瀬戸内の歴史・生活・文化の変遷を捉え、未来を展望するプロジェクトを提案



久比（2015年、国勢調査）



地域の元気応援プロジェクト



これからの世界における瀬戸内

瀬戸内の歴史・生活・文化の変遷を踏まえて

単なる観光名所からの脱却 → 世界に誇る瀬戸内として、自然環境、人的環境を体感できる場所に

↑
今の瀬戸内は、どのように創られてきたのか

歴史

生活

伝承

文化

農業

聞き取り調査を行いデータベースを構築

大崎下島久比 からはじめ、瀬戸内全域に同調査を広めデータベースを構築

データベースを活用し瀬戸内の今後の形を創るさまざまな企画へ

プロジェクトの課題

- 聞き取り、映像作成
 - 話者・縁者への依頼→撮影、録音の設定→インタビューと撮影
- データベースの構築
 - データ化作業→データ整理（生データに近いものでも可）編集→データアーカイブに蓄積→編集

プロジェクト例 獅子舞

- 10月28日に獅子舞を演じた方をお招きして、獅子舞の基本、および祭りの際の獅子舞にまつわる様々な話について聞き取り
- 獅子舞のビデオ撮影
- 2002年のドキュメンタリー映像を見ながらの聞き取り

プロジェクト例 馬・山羊のいる風景

- 聞き取りから
 - **Aさん**：久比の家はみんな家畜で馬や羊を飼っていて、男の人も含めてみんな毛糸を編むことができた。特に毛糸のシャツは子どもが学校の体育の授業で着るため必須だった。
 - **Bさん**：（山羊の乳は）牛乳より濃い。
 - **Cさん**：ほいじゃけそのヤギの乳だけで大きいなりよる子もおったよ。母乳がない人は。母乳がでん人はね、あのお母さん代わりに飼いよった、ヤギを。それ絞って子供に飲ませよった。
 - **Dさん**：わたしゃ馬でもね、だいたい**2箱**、両端、馬へつけるくらがあるんですよ。石炭箱をこうして、今度はその上へ、もう**2つ**負わすんよね、そういうことをして、そのうち**1つ**の方をよこしにすえて、おわさんにゃいけんのよ。それをして**4つ**馬に負わして、大きい道路まで出よった。

プロジェクトの今後

- 課題と展望
 - 2022年はコロナ禍と人員不足で十分に調査できず
 - まめなの歴史プロジェクトとして、広大総科の学部生の特別研究や調査実習の場として継続可能（大学側としては、学部生の問題意識醸成の場として地域提案のプロジェクトを活用させて頂いた）
 - 体制と仕組みは構築された→資料の収集と調査範囲の拡大を進められる状態に到達

